

第 1 9 9 6 回埼玉県教育委員会定例会議事録

- 1 日 時 令和 6 年 1 2 月 1 9 日（木） 午前 1 0 時開会
午前 1 0 時 5 4 分終了
- 2 場 所 埼玉県教育局教育委員会室
- 3 出席者 日吉教育長、戸所教育長職務代理者、坂東委員、小林委員、首藤委員、櫻井委員、佐藤副教育長、古垣教育総務部長、青木県立学校部長、吉田市町村支援部長、案浦参事、小谷野教育総務部副部長、杉田高校教育指導課長、中田高校教育指導課指導主事、佐藤生涯学習推進課長、越小中学校人事課長
平野書記長、小島書記、大久保書記、星野書記、縣書記
- 4 会議の主宰者 日吉教育長
- 5 会 議
 - (1) 前回議事録の承認
 - 全出席委員異議なく本件記載どおり承認
 - 日吉教育長が、小林委員を議事録の署名者に指名した。
 - 会議を公開しないこととする事項について
日吉教育長が、第 8 2 号議案から第 8 5 号議案までの審議について、会議を公開しないこととする動議を提出
全出席委員がこの動議に賛成し、当該事項について会議を公開しないことに決定
 - 日程の変更について
日吉教育長が、日程を変更し、会議を公開しないこととした事項以外の日程について先に行うこととする動議を提出
全出席委員がこの動議に賛成し、日程を変更することを決定

(2) 報告事項

第34回埼玉県産業教育フェアについて

杉田高校教育指導課長（提出理由、目的、事業概要、成果と課題について説明）

小林委員　大きく二つあります。一つ目は、産業教育フェアを3回見させていただき、一番初めに課題だと思っていた広報の部分などが年々しっかりと前向きに取り組まれており、徐々に成果が出てきて、とてもうれしく思っております。実際に会場に行かせていただきましたが、メイン会場の入口に専門高校のパンフレットが並べられており、参加した高校の情報を何とか届けたいという思いのようなものを感じることができました。更にもう1歩進むために、私が気付いたことを申し上げますと、工業部会のエリアに参加している高校について、パンフレットの置き場がありませんでした。中学生を含め、参加した方がどのような形で、どのような動線でイベントに参加するのかという参加者側の視点に立つとよく分かりますが、自分の興味があるところに行き、コンテンツを楽しんでいるときに、ここはどのような学校なのだろうと思ったとき、その方々は、パンフレットが置いてあるメイン会場へは戻らないと思います。ブースごとに自分の学校や内容をしっかりとPRし、そこで完結できるような環境を整えることがとても大切だと思いました。一番分かりやすかったのは、工業部会の一番奥に企業が一つブースを出されていましたが、そのブースを研究されるとよいと思います。やはり、企業同士の展示会などに参展されている企業が、それぞれ自分のブースでどのようなしつらえをしているのか非常に分かりやすかったです。例えば、隅にアクリルのようなもので様々なパンフレットを入れるなど、あまりお金をかけずにPRできる方法が具体例としてありましたので、そのようなところもししっかりと整えていくとよいと思います。また、インスタグラムも大分活用していたようすけれども、産業教育フェアと個別の高校がそれぞれインスタグラムを利用していたと思います。インスタグラムをフォローしてもらうために、それぞれの高校で何か工夫ができないか、何かそのようなところを一つ一つ見直していくと、もっと良くなると感じました。とても良くなっていると思いますが、もっともっとできることがあると思いましたので、是非これからも来年度に向けて取り組んで

いただきたいと思います。二つ目は、pitchトークについて、社会人の方に参加していただけるよう、教育委員からも声を掛けさせていただきました。参加した社会人の方も、とても満足度が高く、参加して良かったと言ってくださっている方がいらっしゃいますし、実際に自分が参加したことを、それぞれの会社や御自身で情報を発信している方がいらっしゃいます。そのような方々の記録や感想を、是非生かしていただきたいと思います。もし来年度以降同じような取組をするのであれば、その辺りもしっかりと精査して改善していくことも必要ですが、せっかく参加していただいた方に丁寧に対応していただくと、県教育委員会が行う今後の様々なイベントに関しても、前向きに協力していただけるとと思います。このような形で一般企業に協力していただくことは、普段の高校ではあまりないことだと思います。企業側も、小・中・高校生のために何かしたいと思っている社会人の方は、とてもいらっしゃると思いますので、そのような方々の思いや声も無駄にしないように、丁寧にやり取りしていただければと思います。

杉田高校教育指導課長 これまでも委員の皆様には御指導いただきまして、その成果として、今年度の来場者数が増えたと考えております。また、今回気付かなかった点について御指導いただきましたので、こちらも生かしてまいりたいと思います。pitchトークにおきましても、やはり企業や経営者団体の方にも多大なる御協力を頂きました。こちらにつきましても、今後とも連携をさせていただきたいと考えておりますので、感想を生かすことや報告をすることなどで、丁寧に対応させていただきたいと考えております。

坂東委員 確かに、新型コロナウイルスによって来場者が減少していましたが、様々な方法を考えて来場者が増えてきたことは良かったと思います。産業教育フェアは、専門高校等の生徒による学習成果の発表と産業教育への県民の関心と理解を高めることを目的としておりますが、中学生と小学生が、このような高校に入りたいと思うことも考えて、中学生をターゲットに開催場所を4か所にし、形を変えながら取り組んでいきたいとの方向性を理解いたしました。当日の参加者1,300名のうち、アンケートの回答があった約30パーセントについて、中学生や小学生の回答割合が昨年度から増えたかどうか分かりますでしょうか。

中田高校教育指導課指導主事 基本的に割合的には同等になっております。昨年度も同じような割合でございました。

坂東委員 企画をしている高校生たちは、自校でも文化祭など様々なイベントを考えていると思うのですが、産業教育フェアに関しては、大体何年生が主体で行われているのか分かりますでしょうか。というのは、その高校で次の年にどのようなことを行うのか引継ぎなどをするとき、3年生ですと受験などがあります。経験上、2年生ぐらいかと思いますが、どの学年の方が考えているのか教えてください。

中田高校教育指導課指導主事 基本的に高校の生徒の割合については、2年生を中心にしております。中には1年生が参加していることもありますが、生徒実行委員会につきましても、3年生、2年生、1年生でバランスよく配置をされております。

首藤委員 私は、今回が2回目の参加でした。前回と比べて広報もうまくできていると思いました。一番の目的である生徒自身への効果は、本当に高かったと思っています。専門高校の生徒同士のコミュニケーションも活発に行われていましたので、今後につながると思いました。前回は、中学校の様々な行事と重複してしまい、中学生が行けないことがあったと思います。今回は、中学校へうまく広報できていたと思いますし、生徒向けに情報を発信するソフトによって、中学生の家庭には頻繁に広報が届いたと聞いておりますので、それもうまくできたのかと思います。ただ、開催が土曜日ですので、中学生は部活もありますし、本当は先生にも来てほしいのですが、先生の仕事のようになってもいけませんし、先生も部活の指導があります。進路につなげるのであれば、保護者や教員にもっと来てもらえるような工夫が必要だと感じました。次にpitchトークについて、私も初めてでしたが、とても良かったと思います。ただ、産業教育フェアと同時に開催したことは、pitchトークにとっては、少し隠れてしまったように感じます。pitchトークの目的は、産業教育フェアとは少し違うと思いますので、pitchトークを前面に出すようなイベントがあればよいと思います。小学生から高校生まで、全県民に向けたものとして開催できればよいのかと感じました。

杉田高校教育指導課長 昨年度、首藤委員から御指導いただきましたイベントの開催の重複につきましては、さいたま市などの行事予定を取り寄せまして調整をいたしました。細かい学校ごとまでは調整できなかったところがございます。

p i t c h トークにつきましては、非常に好評で、皆様から良かったという声を頂いております。p i t c h トークに来ていただいたついでに、産業教育フェアも見ていただき、そこで専門高校にも興味を持ってもらえればと思い、同時開催をしましたが、隠れてしまったという部分もございますので、開催方法につきましては、また検討させていただきたいと思います。

戸所教育長職務代理者 私からは二つあります。一つ目は、来場された方のアンケートのコメントが幾つか記載されていますが、このようなものがあれば良かった、このようなものを来年は見たいなど、そのような記述はあったのでしょうか。

二つ目は、もちろん参加される高校生のために、一義的には非常にプラスになったという話がありましたけれど、できれば小学生もですが、特に中学生に様々な意味でこのような学校もあるということをPRしたいというのもあると思います。中学生で来場される方の割合は、昨年度とあまり変わっていないとお聞きしましたがけれども、大多数の中学生は来られていません。来年から中学生の参加者を増やしていきたいと考えているのであれば、来ていない方がなぜ行かないのか、このようなものがあれば行きたいが、ないから行かないなど、その辺りについて中学校の先生に聞いてみる、アンケートを行うなどしていただけると非常によいと思いますがいかがでしょうか。

杉田高校教育指導課長 アンケートにつきましては、来ていただいた方は、良かったというコメントが非常に多く、もっとたくさんの方にアピールした方がよいのではないかとコメントが多かったと考えております。

中田高校教育指導課指導主事 今、課長が説明したとおり、やはりもっと多くの人に来てほしいというアンケートのコメントはございました。また、生徒実行委員のアンケートでは、プログラムが重なってしまったところがありますので、プログラムの変更など、そのような話は出ておりました。

杉田高校教育指導課長 二つ目の、なぜ中学生が来ないのかにつきましては、その

部分の調査は重要だと考えております。どのように行うかは今後検討をして、来場者が増えるように生かしていきたいと考えております。

戸所教育長職務代理者 人数的には昨年度よりも増えているのですが、それでもごく一部で、まだサイレントマジョリティがいるわけですね。この人たちの半分でも来てもらえれば、すごいイベントになると思いますので、部活がある、土曜日だから行けないなど様々な理由があるのかもしれませんが、変えられる、あるいは参加者をプラスにできるような理由を聞けるかもしれませんので、是非アンケートなどを行った方がよいと思います。よろしくお願いします。

佐藤副教育長 集客の関係で、私も高校教育指導課から報告の説明を受けておりましたが、より多くの小・中学生、特に中学生に来ていただきたいというのは全く同感です。そのような意味で、地域で開催できないかと先ほどの説明の中にもありましたが、例えば一つの手法としては、県が包括的連携協定をしている商業施設や会社も多くありますので、不特定多数の中学生も含めた親子連れが多く集まるような場所でアピールするなど、そのような方策も考えていると聞いております。様々な形で直接案内を届ける方法もあれば、こちらから近づいていく、そのようなものも含めて、より多くの方にお集まりいただけるような工夫をしていきたいと思います。

日吉教育長 産業教育フェア当日は、多くの教育委員の方に視察をしていただき、ありがとうございました。私も、名刺の裏側に産業教育フェアの内容を入れて名刺交換をするなど、様々な努力してまいりましたけれども、今、御指導いただきましたように、よりターゲットをしっかりと明確に絞り、そのような方々に情報がしっかり届くように今後はしてまいりたいと思います。また、生徒主体で取り組んできましたけれども、将来的に生徒がより主体的に取り組めるように、委員の構成メンバーのあり方なども御指導いただきましたので、そのようなことも含めて、今後更により良いものにしていきたいと思います。いずれにしても、長い期間にわたり、御努力いただきありがとうございました。

(3) 次回委員会の開催予定について

1月9日(木)午前10時

<非公開会議結果>

議事

第82号議案 埼玉県社会教育委員の任免について

上程

社会教育法及び埼玉県社会教育委員に関する規則の規定に基づき、埼玉県社会教育委員を解嘱するとともに、補欠の委員を委嘱することを決定しました。

第83号議案 埼玉県生涯学習審議会委員の任免について

上程

生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律及び埼玉県生涯学習審議会条例の規定に基づき、埼玉県生涯学習審議会委員を解任するとともに、補欠の委員を任命することを決定しました。

第84号議案 教職員の人事について

上程

1月1日付け埼玉県公立小・中学校等の校長の人事異動を決定しました。

第85号議案 教職員の懲戒処分について

上程

交通事故を起こした越生町の公立中学校の男性教諭(28歳)に対して、1か月間、給料の月額額の10分の1を減給する懲戒処分を決定しました。